

本市の教育について



滝田 一郎 議員



質問…社会の変化を見据えて、子供たちが将来生きていくために必要な資質能力の向上を図らなければならないと考えています。また、先生が先生でなければできないことに専念できる環境を整備することが重要だと考えています。本市教育の特色について伺います。

答弁…ICT教育と英語教育の充実を重点とし、小中一貫教育

の下、子供たちの確かな学力の定着と向上を図り、時代を切り拓いていくための資質能力を育成することを目指しています。

質問…英語教育ビジョンについて伺います。

答弁…9年間で目指す子供像を2つ示しています。1つは、英語を学ぶことで自分の可能性を広げ、グローバルな視点に立つて主体的に世界とつながる子供

です。もう1つは、中学校卒業時に英語検定3級以上の英語力を有する子供であり、英語検定3級以上の取得達成目標は50%以上としています。

質問…中学校における休日部活動の地域移行について伺います。

答弁…令和7年度までに全ての公立中学校の休日の部活動を1つ以上地域クラブ活動にすることを目指し準備を進めています。

一般質問



大豆生田春美 議員



がん患者への支援について

質問…乳房補整具の購入費用の助成をする考えはあるか伺います。

答弁…本市においては、これまでウィッグ購入費用の助成のみを対象にしましたが、女性の10人に1人が乳がん罹患するという現状において、乳房補整具の購入費用助成に関する要望も増加している状況にあります。がん患者の治療、就業の両

立及び療養生活の質を向上させることは重要と考え、乳房補整具の購入費用に対する助成を来年度から実施できるよう検討していきます。

質問…若年者の在宅ターミナルケア支援事業を開始する考えはあるか伺います。

答弁…若年者の在宅ターミナルケア支援事業とは、若年者のがん患者に対し在宅サービス利用

料を一部助成することで、患者とご家族の負担を軽減する事業です。末期と診断された若者のがん患者が住み慣れた自宅で最期まで自分らしく安心して日常生活を送ることができるよう支援する当該事業を実施することは重要と考え、この事業についても来年度からの実施に向けて準備を進めていきます。